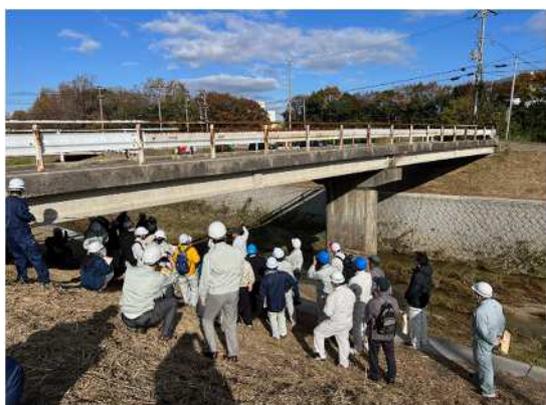


第 16 回技術研修会(現地研修会: 広陵町)を開催

- 2023 年 11 月 20 日 (月) 13 時 30 分～16 時、奈良県、広陵町、第 2 浄化センターのご協力のもと、供用中のしん橋 (広陵町管理) を対象に、第 16 回技術研修会を開催しました。
- 奈良県コンクリート診断士会側からは 12 名、奈良県道路メンテナンス会議からは 29 名 (奈良国道事務所、奈良県、および 7 市 6 町 4 村)、奈良県森林資源生産課・農林振興事務所(中部・南部)から 4 名の参加があり、合計 45 名で第 1 部をしん橋での現地研修、第 2 部を第二浄化センター3 階会議室での座学研修として、2 部構成で実施しました。
- しん橋は、2020 年度の近接目視点検の結果、判定区Ⅲ (早期措置段階) と判定されたプレテン PCT 桁 (橋長 33.9m (16.9m×2 連)、幅員 4.6m、建設年度 1971 年) です。第 1 部では主桁の PC 鋼より線の部分的な露出、端横桁定着部の保護コンクリートの剥落や浮きなどについて、安全性や第三者影響度の観点から、点検時の留意点などについて研修しました。第 2 部では、プレテン JIS 桁の変遷、横締め PC 鋼棒の非破壊検査方法、PC 鋼棒の破断事例や補修事例、維持修繕計画策定時の留意点などについて研修しました。
- また、河床から桁下までの高さが高く近接目視点検が困難な状況でしたので、村本建設㈱のご協力を得て事前にドローンによる点検を行い、撮影した画像を用いた研修も併せて実施しました。新しい技術を用いて効率的に点検を行うことについて、参加者から多くの質問が寄せられました。
- 奈良県や関係市町のご協力を得て供用中の橋梁を対象に行う現地研修は、2022 年度に引き続いて 7 回目の開催となりました。これは、奈良県コンクリート診断士会の設立目的である会員の技術力向上や地域貢献に大いに資するもので、以降も継続して開催できるように、連携を深めていく予定です。



▲ 現地研修 (桁下面からの近接目視点検)



▲ 現地研修 (ドローン撮影画像を用いた研修)



▲ 座学研修 (第二浄化センター会議室)



▲ 質疑応答